

平成23年産米の相対取引価格(出荷業者)(速報)
(平成23年11月)

(単位:円/玄米60kg)

産地	品種銘柄	地域区分	23年11月 ①	参考			
				23年10月 ②	対前月比 ①/②	22年11月 ③	対前年比 ①/③
北海道	きらら397		13,904	13,773	101%	11,030	126%
北海道	なつぼし		13,880	13,924	100%	11,540	120%
青森	つがるロマン		13,433	13,680	98%	11,559	116%
青森	まっしぐら		13,341	13,417	99%	10,907	122%
岩手	ひとめぼれ		14,346	14,150	101%	11,622	123%
岩手	あきたこまち		14,315	14,296	100%	11,460	125%
宮城	ひとめぼれ		14,654	14,821	99%	12,174	120%
宮城	ササニシキ		14,813	14,733	101%	12,150	122%
秋田	あきたこまち		15,381	15,384	100%	12,404	124%
山形	はえぬき		14,503	14,524	100%	11,428	127%
福島	コシヒカリ	中通り	14,285	14,759	97%	12,282	116%
福島	コシヒカリ	会津	16,003	16,153	99%	13,583	118%
福島	ひとめぼれ		13,671	13,932	98%	11,307	121%
茨城	コシヒカリ		15,821	15,727	101%	13,033	121%
栃木	コシヒカリ		15,579	15,712	99%	12,386	126%
埼玉	彩のかがやき		14,165	14,155	100%	-	-
千葉	コシヒカリ		15,940	15,143	105%	12,720	125%
長野	コシヒカリ		15,899	15,929	100%	13,678	116%

産地	品種銘柄	地域区分	23年11月 ①	参考			
				23年10月 ②	対前月比 ①/②	22年11月 ③	対前年比 ①/③
長野	あきたこまち		14,794	-	-	-	-
新潟	コシヒカリ	一般	18,178	17,897	102%	15,370	118%
新潟	コシヒカリ	魚沼	23,111	22,741	102%	21,566	107%
新潟	コシヒカリ	岩船	18,620	-	-	15,679	119%
新潟	コシヒカリ	佐渡	18,724	18,341	102%	15,676	119%
富山	コシヒカリ		16,239	16,093	101%	13,625	119%
石川	コシヒカリ		16,092	16,290	99%	-	-
福井	コシヒカリ		16,036	16,047	100%	13,139	122%
三重	コシヒカリ	一般	15,941	15,938	100%	13,047	122%
滋賀	コシヒカリ		15,855	15,853	100%	13,352	119%
滋賀	キヌヒカリ		15,105	15,154	100%	-	-
兵庫	コシヒカリ		15,803	15,740	100%	13,613	116%
島根	コシヒカリ		15,732	-	-	12,810	123%
広島	コシヒカリ		15,112	15,007	101%	11,631	130%
徳島	コシヒカリ		14,621	-	-	13,150	111%
香川	ヒノヒカリ		14,573	-	-	-	-
福岡	ヒノヒカリ		14,710	14,631	101%	12,266	120%
佐賀	夢しずく		14,490	14,659	99%	12,113	120%
全銘柄平均価格			15,178	15,154	100%	12,630	120%

資料:農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注:1)相対取引価格は、ア 全国出荷団体、イ 年間の玄米仕入数量が5,000トン以上の道県出荷団体等、ウ 年間の直接販売数量が5,000トン以上の出荷業者と卸売業者等の主食用の相対取引契約(数量と価格が決定した時点を基準としている。)の価格(運賃、包装代、消費税相当額を含む1等米の価格。)であり、その契約数量を用いて加重平均した価格である。

その際、新潟、長野、静岡以東(東日本)の産地品種銘柄については受渡地を東日本としているものを、富山、岐阜、愛知以西(西日本)の産地品種銘柄については受渡地を西日本としているものを加重平均している。

2)また、相対取引価格は、個々の契約数量に応じて設定される大口割引等の割引などが適用された価格であり、実際の引取状況に応じて等級及び付加価値等(栽培方法等)の価格調整が行われることがある。

3)産地品種銘柄は、ア 22年産の公表対象産地品種銘柄が存在した道府県における当該産地品種銘柄、又は、イ ア以外の道府県における22年産の検査数量の最も多かった1品種銘柄、のうち、月1,000トン以上の取引があったものである。

4)全銘柄平均価格は、報告対象産地品種銘柄ごとの前年産検査数量ウェイトで加重平均した価格である。

5)22年11月は22年産の価格である。